

計画第3期 小中一貫教育とCSの充実へ

小中一貫・CS 通信

NO.44 R4.11.30 幕別町教育委員会 学校教育推進員

北海道で過去最高を更新する感染者数となり、第8波突入と言われ始めています。昨年のこの時期は新規感染者なしの日が十勝管内で40日以上続いていましたから、変異株の感染力の強さに今さらながら驚かされます。ただ、現在流行のオミクロン株は重症化率がそう高くないことから、政府は「行動制限はしない」としています。学校では、これまで通り感染対策を施しながら教育活動を粛々と進めていくことになります。2学期末まであと少しです。計画通りにさまざまな業務をやりきりましょう。

今月は、各学園の運営協議会や乗入授業の様子をお知らせします。

今回も盛り上がった熟議！ 糠内学園運営協議会開催 10/24

10月24日(月)、糠内学園運営協議会が開かれました。

前半は、学園から各部会の進捗状況や各校の学校生活の様子、次年度の児童・生徒数と教職員数の見通し等が報告され、質疑応答が行われました。質問はありませんでしたが、奄美大島との交流についての感想が出されました。



後半は、壮瞥中学校と清陵高校の取組についての動画を視聴した後、「地域の大人としての子どもにできること」をテーマに熟議が行われました。今回は前回と違い、学園役員は入らず協議会委員のみでグループ1つを作って行いました。意見交流では、具体的な案までには至りませんでしたが、動画で見た、「中学生が他地域の中学生に説明する取組」に関心が集まりました。また、自分の農場での農業体験から、都会の人達が農業体験とりわけ農業機械体験に大喜びすることが紹介され、貴重な観光資源になりうる農業機械が糠内には至るところにあることが指摘されました。今後の取組につながるアイデアの芽がいくつも出された熟議となりました。

次回1月には、前段に奄美大島とのオンライン交流を参観し、その後運営協議会をもつことにしています。

いよいよ始動！ 乗入授業 さつない学園 札内南小に算数の出前授業

さつない学園乗入授業がいよいよ開始されました。7月のカリキュラム部会で確認された課題に基づき、札内中学校の数学教師3名が札内南小学校6年生3クラスの算数授業に参加しました。初回の11月2日(水)と2回目の4日(金)は、顔合わせを兼ねてT2としての学習支援を行いました。8日(火)には、中学数学教師と小学校担任との事前打合せを行い、授業の目的、使用する資料の提示など進め方を綿密に確認し、より詳しく児童の実態を把握しました。



そしていよいよ11月10日(木)、中学校の田口教諭、柳浦教諭、鈴木教諭の3名が6年生3クラスそれぞれで授業を行いました。「ピカチュウが何ターンで敵を倒せるか」「700ページの本を読み切るのに何日かかかるか」など児童にとって身近なものや興味関心を引くものを課題として提示したり、児童が書いた

た式やグラフを ICT 活用で全体共有したりするなど工夫がありました。また、数学と算数は何が違うのかなども簡潔にわかりやすく説明し、中学校へのギャップ解消につながる授業を展開しました。

「幕別本町の今と昔を見つめる」熟議で 活発な意見交流 まくべつ学園運営協議会開催 10/31



10月31日(月)、第2回まくべつ学園学校運営協議会が幕別中学校を会場に開催されました。

森会長の挨拶の後、前半は令和4年度の体制や運営協議会の事業計画が説明され、引き続き情報提供として、「コミュニティ・スクールの仕組み」と「部活動の地域移行について」(橋本学園長)、「まくべつ学園の小中一貫教育の取組について」(杉澤コーディネータ)、「まくべつ学園の今後の小中一貫教育の進め方について」(西田学校教育課長)の説明がされました。

後半は、「まくべつ学園(小・中)の子どもたちの育ちにむけて」をテーマに、「幕別本町の今と昔を見つめてみる」ことを柱に、ワークショップ形式で熟議を行いました。森会長の進行により、2グループに分かれて、色別の付箋に良いこと、悪いことを書き出し、模造紙に張りながら意見交流をしました。最後にグループからの発表で全体交流をしました。

「昔は、学校、地域行事などに多くの人が集まり活気があった。先輩は怖かったが、仲間意識やたくまさが今よりあった。今は人口が減り寂しい感じになったが、運動公園も整備され自然あふれる魅力的な町である。今の子どもは昔より忙しそうで打たれ弱い。上下関係の仲は良いが馴れ合い的な感じもする。」

「昔の子どもは過保護ではなかった。地域で礼節を学ぶ機会も多く人間関係を築く力があった。今は親子も友達同士も仲が良い。ただ、人数が減りクラス替えもなく人間関係が固定されること、学校でのパソコン使用はいいことだが SNS などの扱いが心配、など懸念されることもある。本町は、鉄道も走り帯広とのアクセスがよく、自然環境にも恵まれている。」などの意見が2つのグループから出されていました



最後に、小山副会長が「活発な熟議ができて、よい時間を過ごすことができた。まくべつ学園の今後についての説明を受け、方向性を確認できたこともよかった。保護者の意見を十分聞いて丁寧に進めてほしい。」とまとめの挨拶を行い閉会しました。

今回は、今回の熟議をもとにまくべつ学園の子どもたちの育ちにむけて、「わたしたちに何ができるか」を熟議する予定です。なお、学校運営協議会の委員の方々には、実際に乗入授業を見てもらおうと、協議会実施の前の週10月21日(金)・26日(水)に乗入授業を、また、学園教職員の授業参観週間11月7日(月)~11日(金)に合わせ小中両校の授業を、それぞれ公開し足を運んでいただきました。

学校経営への願いを出し合う熟議を実施！ 札内東学園運営協議会 10/25

10月25日(火)、札内東学園の第3回学校運営協議会が札内東中学校を会場に開催されました。

堀川会長の挨拶の後、横山副学園長が「Society5.0 社会とは？」をテーマに情報提供を行いました。前回に引き続き超スマート社会を描く動画(経団連監修)を視聴後、こうした



時代を生きることになる子ども達には、受け身ではなく変化を前向きに受け止める姿勢や読解力、表現力、創造性などを育てていくことが求められていると説明がされました。

引き続き、横山副学園長が統括ファシリテータを務め、2グループによる熟議が行われました。前回同様グループファシリテータとして事務局次長の教頭先生2名がグループの話し合いを進めました。前半のテーマは、「札内東学園の子ども達の強みと弱みについて」とし、前回同様に、個人思考の後、グループ内で意見交流、その後グループファシリテータが他グループに交流の様子を報告、との流れで行いました。強みとして「ICTに強い」「様々な情報を得られる環境にいる」「素直でまじめ」「やさしい」などが、弱みとして「たくましさに欠ける」「傷つきやすい」「失敗を恐れる」「同世代との狭い付き合いだけ」などが出されました。

後半は、「15歳の春、こんな姿に」をテーマに、目指す子ども像のイメージを出し合いました。「失敗をたくさんしてそこから学べる子に」「外の世界を経験して視野を広げられる子に（他人の飯を食え!）」「仲間を作るコミュニケーション能力を身に付けた子に」「責任感や義務感ももった子に」など、様々な思いが交流されました。最後に、各グループからの発表で全体交流をして熟議を終了しました。

2回目となった熟議に委員の方もかなり慣れてきました。今回の熟議内容も参考にして、次年度の経営方針を策定していく計画です。



具体的な課題で熟議開催！ さつない学園運営協議会 10/25

10月25日(火)、さつない学園の学校運営協議会が開かれました。岡田会長、久保学園長の挨拶の後、議事に入り、①これまでの学園活動報告、②学園サポーター募集チラシの検討をまず行いました。その後「いじめ・不登校・SNSに関わる現状と家庭・地域・学校の連携・協働による今後の取組について」をテーマにした熟議を行いました。熟議の冒頭、各校からの現状報告やQUテストの説明等、必要な情報を共有したあとグループの話し合いに入りました。グループは、学校・委員・教職員をランダムに配置して4人グループとしました。

各グループの活発な協議のあと、グループごとの発表で全体交流をしました。いじめについては「状況・現状が外部から見えにくい」「多くの目で見守ることや情報発信が大事」などの意見、不登校については「達成感や自己肯定感が得られる、登校したいと思うような取組」「子ども達がゆっくり食事できる時間の確保」「保護者へのサポート」などの意見、SNSについては「家庭・地域・学校児童生徒のみんなが学べる研修や教室開催」「繰り返し、継続した呼びかけが大事」などの意見がそれぞれ出されていました。

熟議終了後、学園長が「学校だけで教育が成立する時代ではなくなった。保護者・地域から情報をいただきながら学校からの情報発信に努めていきたい。」と挨拶。最後に大島副会長が「貴重な議論ができた。今後も学校・家庭・地域の三位一体で進めていきたい。」と締めくくり閉会しました。CSが少しずつ軌道に乗ってきました。

中学校登校による乗入授業 昨年より拡充して実施 糠内学園

11月11日(金)に午前中のみを試行を行い、15日(火)に一日登校という形で乗入授業を実施しました。

子ども達は、多少緊張しつつも、楽しそうに授業を受けていました。コロナの影響で、当初予定していた合同体育から技術科の授業に変更になることもありましたが、初め



て学習する技術科の内容に子ども達は興味津々、喜んで学習していました。

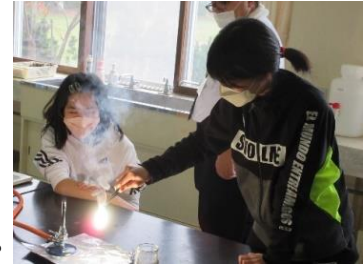
乗入授業は今後 28 日(月)、29 日(火)の 2 日間も予定されていて、子ども達は朝の登校から 6 時間目終了まで過ごして下校する、という丸一日登校を合計 3 日間経験します。昨年より拡充された乗入授業になっています。小規模校で人員に限られる中、工夫を凝らして取組を進める糠内学園です。



ちょっぴり緊張？中学校登校 ちゅうるい学園

10 月 18 日(火)、1 回目の中学校登校が行われました。1 時間目は、学校見学、2・3・5 時間目は、中学校の先生による数学、理科、体育の授業が行われました。

数学は、比例・反比例の授業で内容を少し膨らませて行いましたが、6 年生が楽しみながら授業を受けていたのが印象的でした。理科の授業では、音とガスバーナーの実験を行いました。ガスバ



ナーを使ってマグネシウムを燃やす実験に進んで取り組んでいました。昼休みは児童会・生徒会交流が行われ後期の活動内容を確認しました。5 時間目の体育は、フリスビーを使って「アルティメット」という競技を仲間と協力しながら行いました。

子ども達はちょっぴり緊張しながらも楽しく学び中学校生活への期待を大きくしていました。3 学期に 2 回目が予定されています。

札内東学園実践交流会 11/17 白人小学校

11 月 17 日(木)、札内東学園の実践交流会が白人小学校で開かれました。昨年札内北小学校で開かれたこの交流会は、年ごとに会場を順番に移して授業を公開し、系統的な指導のための教育内容の充実、児童生徒理解と指導力向上等を目指して開催されています。

この日は全学年の 5 時間目が公開され、融和的な雰囲気の中にも程よい規律をもって生き生きと学ぶ授業を学園の教職員や運営協議会委員が参観しました。ICT 活用に熱心に取り組んでいるだけあって、どの教室でもタブレットを慣れた様子で操作する子ども達の姿が見られました。

授業後は、学習指導部、生徒指導部、地域学習部の各部会が開かれ、その中で授業についての話し合いや部会業務について



の話し合いがされました。

最後に、学園の役員会も開催され、各部会の様子の報告、今後の活動についての確認が行われました。

夏の教職員研修会に続き、コロナ禍の中であってもしっかりと研修・研究活動に取り組む札内東学園です。

